

様式 C-19

科学研究費補助金研究成果報告書

平成 23 年 6 月 21 日現在

機関番号：34435

研究種目：基盤研究 (C)

研究期間：平成 20 年度～22 年度

課題番号：20530552

研究課題名 (和文) 養育上の課題を持つ子ども家庭を含めた予防的な地域子育て支援事業の実証的開発研究

研究課題名 (英文) The evidence based developmental research about preventive support of community child raising which includes the families who have problems on bringing up

研究代表者 中川千恵美 (CHIEMI NAKAGAWA)

大阪人間科学大学 人間科学部・教授

研究者番号：30280035

研究成果の概要 (和文) : 第一に子ども家庭への支援を先進的に実施しているオーストラリアビクトリア州での Best Start プロジェクトの聞き取り調査を行い、地域におけるコミュニティファシリテーターの業務内容を整理し、本プロジェクト実施のガイドラインを翻訳した。第二に日本の子育て支援総合コーディネーターへの聞き取り調査からは、(1) いくつかの実施形態があること (2) 情報提供から相談対応へつなげる際の課題の 2 点が重要な成果である。第三に養育上の課題がある子ども家庭への予防的な支援については、オーストラリアビクトリア州の Play Group Victoria の Supported Playgroups 活動及び MY Time プログラムの情報収集を行った。これらの実践は、課題を持つ親に対する訓練を受けた親達によるサポートや当事者の親グループ作りの効果を確認した。

研究成果の概要 (英文) : This study can be sort by three points.

First of all, I did research about Best Start Project in Victoria state in Australia where supports for families who have children are proactive. I made it clear that the work of community facilitators and translated the guideline of this project.

Secondly, from the interview research to general child care support coordinators I got two important facts. (1) There is several ways of how to arrange coordinators efficiently. (2) The problem is the process between the information supply and the referring system to specialists. Finally, as preventive support for families who have problems on bringing up, I took two means which are thought up in Australia. "Supported Playgroup activity", and information research of "MY Time program". These two practices proved two things. One is the effect of the support by the parents those who had had the training which was for the parents who had problems about bringing up. And the other one is the effect of how to make groups among the parents those who are concerned on child raising problems.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
20 年度	1,100,000	300,000	1,400,000
21 年度	500,000	150,000	650,000
22 年度	700,000	210,000	910,000
総計	2,300,000	660,000	2,960,000

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：社会福祉学

キーワード：_(1)地域子育て支援事業 (2) 養育上の課題がある家庭へのアウトリーチ (3) 子育て支援総合コーディネーター (4) MY Time プログラム (5) 子育て支援におけるパートナーシップ

1. 研究開始当初の背景

2003年の児童福祉法改正、同年の次世代育成支援対策推進法の制定さらに、2005年からの次世代育成支援行動計画実施以降、地域における子育て支援事業の推進が求められている。

地域の子育て力の推進が目指す方向性は、子どもとその親達が生活する圏域における健全育成はもちろんであるが、児童虐待問題や子どもを巡る殺傷事件からの回避など、予防的な支援への展開が重要だと考える。

ただ現状各市町村では、母子保健部局、保育部局、児童福祉部局、教育部局、またNPO等の子育て団体等の子どもに家庭に関連する部署それぞれが、子育て支援事業を主催している。現状では乳幼児期の子どもに対する取り組み、親に向けた講座、地域に向けたイベント等として点在し実施されてきた。

2. 研究の目的

1. Best Startプロジェクトでの共通した評価指標と地域特有の成果に関する評価、関係機関連携に関する評価方法等さらに詳細な聞き取り調査を実施する。

2. モデルとしたBest Startプロジェクトの展開で地域特性等の違いがある中で、コミュニティファシリテーターの共通した役割と固有性について調査する。

3. NPO団体として30年以上続くPLAY GROUP VICTORIAの活動実態調査を行う。地域の親のサークルづくり、各サークルのデータベース等の組織化、さらに行政との協力連携分担の在り方等ユニーク地域支援を担う重要な当事者活動を実践する存在である。そこで行政との協力連携部分と親達の当事者組織活動の独自性等の活動実態を調査する。

4. 地域子育て支援事業の取り組みの現状を、リスクを持つ子ども家庭を含めた支援事業の実際に着目し、調査し現状分析する。地域における連携した支援事業の評価指標も作成する。

3. 研究の方法

先駆的な実践を実施しているオーストラリアビクトリア州でのBest Startプロジェクト先行研究検索サイトからの報告された自治体と全市町村ホームページからの検索

を実施し、子育て支援総合コーディネーター実施自治体への聞き取り調査を行った。地域子育て支援事業

4. 研究成果

1. については、Best Startプロジェクトのガイドラインの翻訳を完成し研究報告書(「地域における子育て支援事業推進に向けてのプロジェクトガイドライン-Best Start in Action Project guidelines 翻訳-」)を作成した。これは当該地域における子どもや家庭に対する現状ニーズを把握や支援事業を見直し身近な地域へと改善していく、Best Startプロジェクトの実施指針策定や推進に関するガイドラインの翻訳を発行した。評価指標について第一段階のプロジェクトについての共通評価と地域指標は、数量化を中心にあげられていた。その点は州では2013年での評価に向けて指標等の詳細な検討段階に入り、プロジェクトを実施した地域の評価を、メルボルン大学のチームと協議中である。

2. については、特徴ある地域での実践を実施しているコミュニティファシリテーター(以下、CFと省略)に、その業務内容を中心に聞き取り調査を実施した。CFについては、特に資格を規定していないが、保育士や幼稚園教諭、ソーシャルワーカー、地域化族実践がある者であった。重視されるのは、当該地域を知っている者であった。具体的な役割は、州で策定した安全・教育・健康に基づく共通項目に関する地域のニーズに応じた援助プログラムの策定と実施の進捗管理をすべて任されるものである。1.で翻訳したガイドラインでは、ビクトリア州の見解としてCFの役割を以下に位置づけている。

州の見解より「明確なリーダーシップ能力と管理、ネットワーク作りのスキル」「サービス/プログラム、部門や組織の垣根を超えてキープレイヤーとして協力的効果的に働く能力」「地域社会に対する理解があり、阻害されているグループや孤立しているメンバーへの支援」等に加えて「地域活動で十分なプロジェクト管理能力と経験を持っており、コンサルティングを行う十分な能力と、問題解決に向けた個人への交渉能力を備える。その他「高い概念能力と分析能力」「高いコミュニケーション能力とプレゼンテーション

能力」「乳幼児向けプログラムのビジョンに対する知識と理解を持ち働く」「関係機関とつながりを持って働く知識と彼らと交渉する能力。」「予算と支出の管理経験」「コンピューターの知識」とされ、多面的な能力と児童福祉地域計画能力の策定と実施に向けてのネットワーク能力が求められている。

3. Parenting Research Centre での聞き取りから、My Time プログラムという養育困難な子どもを持つ親の当事者間における自助活動プログラムと実践について情報収集した。Play Group Victoria では、子育て経験のある親の立場で“Supported Playgroups”とし訓練を受けた親による、養育課題がある子どもを持つ親へのサポート及びコーディネート活動の実際や訓練内容を聞き取った。その訓練育成等が今後日本でも示唆を与える活動となると考える。

4. については、子育て支援総合コーディネーター業務の実際の把握整理を行なった。

子ども家庭支援の現場で実際に情報提示や相談の最前線で養育上の問題を抱えた家庭を含む対応をしている、子育て支援総合コーディネーターへの聞き取り調査で、現状の具体的な問題認識を把握する必要があった。

そうした聞き取り調査から、具体的なニーズ把握と子育て支援総合コーディネーター業務の把握整理を行ない、現状とその課題を整理し、また先駆的な活動を確認した。全国の市町村ホームページの点検と確認電話から、当該市町村で配置されている子育てコーディネーターの業務に関する実態と役割を整理分析した。

子育て支援総合コーディネーター配置市町村の聞き取りや現状から、コーディネーターの業務として以下の5点を共通する業務と考える。それらは①親子への適切な情報提供、②窓口相談からの適切な資源やサービスにつなぐ、③資源につなぐ上でも関係機関との情報共有と連携、④イベントや講座実施による子育て資源やサービスの広報活動、⑤予防的な子育てネットワーク活動の実施である。

表1に聞き取り市町村の簡易版集約を整理した。

加えて、子育て支援コーディネーター等養成講座聞き取り調査から、以下の結果に整理した。

養成講座の実際や創設された人材養成事業の実態は十分把握されているとは言えない。筆筆者が以前聞き取りしたX県では、基本に親支援と地域支援の2テーマを中心に講座内容に盛り込まれていた。ホームページ検索からのY県では、「〇県子育て支援の施策と課題」「子どもの創造性を育む」「地域の力で虐待予防」「子育て支援コーディネーター

の集い」「子育て支援コーディネーターの集い」「心と体から健康を考える」「コーディネーター養成」「子育て支援企画」「PC利用のプレゼンテーション」「子育て支援への期待」等多面的な内容が含まれていた。

表1 子育て支援総合コーディネーター配置自治体の現状結果(概要版)

	人口	配置人数	配置場所・部署	現任者の要件資格
A市	1,184,209 (173153)	2名	市役所内 子育て支援課	地域の子育て情報に精通していると認められた者
B市	63,914 (10,376)	2名	市役所内 子育て支援課	保育士、幼稚園教諭
C市	75,583 (15016)	2名	NPO法人	保育士、保育士
D市	153,375 (20,245)	3名 (1日 2名 勤務)	社会福祉協議会	幼稚園教諭、保育士、教諭
E市	237,236 (33,213)	4-6名	子育て支援総合センター、 地区児童館での巡回 相談	保育士、養成講座受講者
F市	454,607 (63,216)	2名、	総合相談施設、児童館の2箇所に専任者、他広場や保育所で兼務者が対応	保育士、保育士

*人口及び()内児童人口は平成17年度現在

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計1件)

中川千恵美 「地域における子育て支援コーディネーターの業務内容と役割の検討について」
大阪人間科学大学 紀要 「Human Sciences」
第10巻 P21 - P29 2011

〔学会発表〕(計2件)

中川千恵美 「地域における子育て支援コーディネーターの業務内容と役割の検討について」
日本社会福祉学会 第58秋季大会 2010年
10月 日本福祉大学 美浜キャンパス

中川千恵美「子育て支援総合コーディネーター業務に関する現状調査－コーディネーターへの聞き取り調査を通して－」日本社会福祉学会 第59秋季大会 2011年10月 淑徳大学 千葉キャンパス

〔図書〕(計0件)

〔産業財産権〕

○出願状況(計0件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

出願年月日:

国内外の別:

○取得状況(計0件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

取得年月日:

国内外の別:

6. 研究組織

(1) 研究代表者

中川千恵美 (NAKAGAWA CHIEMI)

大阪人間科学大学 人間科学部 社会福

祉学科 教授

研究者番号: 30 280035

(2) 研究分担者

()

研究者番号:

(3) 連携研究者

()

研究者番号: